

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 ヤマウホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5284 URL <https://www.yamau-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有田 徹也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 倉智 清敬 (TEL) 092 (872) 3301
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,280	△4.4	339	△29.9	410	△26.8	263	△25.7
2026年3月期第1四半期	4,478	2.5	484	1.2	560	△0.9	355	△4.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 306百万円(△15.2%) 2026年3月期第1四半期 361百万円(19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	43.57	—
2026年3月期第1四半期	58.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	20,688	13,426	64.8
2026年3月期	22,506	13,791	61.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,413百万円 2026年3月期 13,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	0.9	810	△11.0	870	△12.7	530	△14.1	87.48
通期	22,200	4.5	3,520	△0.7	3,600	2.4	2,250	1.7	371.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	6,306,000株	2026年3月期	6,306,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	247,174株	2026年3月期	247,174株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	6,058,826株	2026年3月期1Q	6,118,854株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の影響に伴う資材、エネルギー価格の高騰が続く等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界においては、「国土強靱化」や「防災・減災」の重要性の高まりを背景に、老朽化が進むインフラの維持・更新対策や防災インフラ整備を目的とした公共投資が底堅く推移しております。一方で、将来的な国内市場の縮小リスクや、資材・原材料等の高騰による影響もあり、事業環境は予断を許さない状況にあります。

このような経営環境下で当社グループでは、2035年を目標とする「ヤマウグループ長期VISION2035」の実現に向けて、1st Stageの中期経営計画「Plan C³」最終年度である2027年3月期は、将来目線に立った当社グループの構造改革と成長戦略を加速させ、次のStageへの素地固めに取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における業績は、インフラ整備工事への対応や高騰する資材・原材料等の販売価格への転嫁等に取り組んだ結果、売上高は42億80百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益が3億39百万円（前年同四半期比29.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億63百万円（前年同四半期比25.7%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと次のとおりであります。

(コンクリート製品製造・販売事業)

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ大口案件への製品出荷量が減少したこと等により、売上高は24億33百万円（前年同四半期比11.6%減）、セグメント利益（営業利益）は3億16百万円（前年同四半期比39.9%減）となりました。

(水門・堰の製造及び施工並びに保守事業)

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。2026年3月末の繰越受注残高は前年度末に比べ減少しましたが、大型案件の受注が増加し自社製作の割合が増えたため、工事進行基準の適用により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は9億13百万円（前年同四半期比21.9%増）、セグメント利益（営業利益）は80百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

(地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業)

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業の売上は、地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計業務によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、2026年3月末の繰越受注残高が前年度末に比べ減少したこと等により、売上高は2億56百万円（前年同四半期比40.7%減）、セグメント損失（営業損失）は22百万円（前年同四半期は営業利益45百万円）となりました。

(橋梁・高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事事業)

橋梁・高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事事業の売上は、主に橋梁・高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5億36百万円（前年同四半期比25.2%増）、のれん償却後のセグメント損失（営業損失）は64百万円（前年同四半期は営業損失80百万円）となりました。

(コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業)

コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修工事・補強設計業務の請負によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、補修工事業におきまして、原価回収基準適用の期末越え(2026年3月末)工事の完工が、前年同四半期に比べ当四半期は増加したこと等より、売上高は1億5百万円(前年同四半期比93.1%増)、セグメント損失(営業損失)は23百万円(前年同四半期は営業損失37百万円)となりました。

(情報機器の販売及び保守事業)

情報機器の販売及び保守事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守事業によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は34百万円(前年同四半期比37.6%減)、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同四半期比14.7%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上は、主に不動産の賃貸によるものであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は68百万円(前年同四半期比0.8%減)、セグメント利益(営業利益)は41百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.8%減少し、137億17百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が12億50百万円、商品及び製品が1億37百万円、仕掛品が1億14百万円それぞれ増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が32億90百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、69億71百万円となりました。これは、主として、有形固定資産が30百万円、無形固定資産が42百万円減少し、投資その他の資産が87百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%減少し、206億88百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.8%減少し、66億49百万円となりました。これは、主として、買掛金が4億15百万円、電子記録債務が2億17百万円、未払法人税等が6億6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、6億12百万円となりました。これは、主として、退職給付に係る負債が5百万円増加し、その他の固定負債が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.7%減少し、72億62百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、134億26百万円となりました。これは、主として利益剰余金が4億2百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,140,770	6,391,124
受取手形、売掛金及び契約資産	6,783,761	3,493,430
電子記録債権	1,043,853	945,444
商品及び製品	1,636,109	1,773,208
仕掛品	284,594	398,645
原材料及び貯蔵品	475,938	563,747
その他	189,864	154,163
貸倒引当金	△4,979	△2,066
流動資産合計	15,549,914	13,717,697
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,352,709	2,369,607
その他（純額）	2,665,380	2,618,016
有形固定資産合計	5,018,090	4,987,624
無形固定資産		
のれん	357,856	335,490
顧客関連資産	219,000	200,750
その他	179,917	177,865
無形固定資産合計	756,774	714,105
投資その他の資産		
投資有価証券	626,758	684,134
その他	806,476	836,532
貸倒引当金	△251,340	△251,331
投資その他の資産合計	1,181,893	1,269,335
固定資産合計	6,956,758	6,971,065
資産合計	22,506,672	20,688,763
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,456,024	1,040,474
電子記録債務	874,265	656,575
短期借入金	3,103,600	2,925,000
未払法人税等	787,640	181,435
賞与引当金	375,128	579,075
その他	1,489,572	1,267,068
流動負債合計	8,086,232	6,649,629
固定負債		
退職給付に係る負債	159,860	165,512
資産除去債務	232,708	232,708
その他	236,145	214,699
固定負債合計	628,713	612,919
負債合計	8,714,945	7,262,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	802,614	802,614
利益剰余金	12,053,163	11,650,653
自己株式	△155,635	△155,635
株主資本合計	13,500,143	13,097,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347,675	387,059
退職給付に係る調整累計額	△71,819	△71,122
その他の包括利益累計額合計	275,856	315,936
非支配株主持分	15,727	12,643
純資産合計	13,791,726	13,426,213
負債純資産合計	22,506,672	20,688,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,478,304	4,280,030
売上原価	2,722,737	2,663,826
売上総利益	1,755,566	1,616,204
販売費及び一般管理費	1,271,265	1,276,478
営業利益	484,301	339,725
営業外収益		
受取利息	129	434
受取配当金	13,526	15,372
鉄屑処分収入	12,042	13,251
利用分量配当金	32,631	45,713
貸倒引当金戻入額	1,922	2,921
保険解約返戻金	4,543	—
その他	25,407	10,761
営業外収益合計	90,203	88,454
営業外費用		
支払利息	10,869	11,712
その他	3,262	6,003
営業外費用合計	14,132	17,715
経常利益	560,372	410,464
特別利益		
固定資産売却益	—	136
特別利益合計	—	136
税金等調整前四半期純利益	560,372	410,600
法人税、住民税及び事業税	212,974	181,727
法人税等調整額	△8,646	△38,004
法人税等合計	204,327	143,723
四半期純利益	356,044	266,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	989	2,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,055	263,960

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	356,044	266,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,783	39,383
退職給付に係る調整額	1,970	697
その他の包括利益合計	5,754	40,080
四半期包括利益	361,799	306,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,809	304,041
非支配株主に係る四半期包括利益	989	2,916

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	コンクリート 製品製造・販 売事業	水門・堰の製 造及び施工並 びに保守事業	地質調査・コ ンサルタント 業務及び土木 工事業	橋梁・高架道 路用伸縮装置 の製造・販 売・設置工事 事業	コンクリート 構造物の点 検・調査、補 修工事業
売上高					
一時点で移転される財	2,753,252	—	—	142,985	—
一定の期間にわたり移転 される財	—	741,257	432,366	285,361	54,817
顧客との契約から生じる 収益	2,753,252	741,257	432,366	428,346	54,817
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,753,252	741,257	432,366	428,346	54,817
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	7,644	—	—	—
計	2,753,252	748,901	432,366	428,346	54,817
セグメント利益又は損失 (△)	526,002	△18,344	45,941	△80,275	△37,178

(単位：千円)

	情報機器の販 売及び保守事 業	不動産事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高				
一時点で移転される財	50,191	—	—	2,946,428
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	1,513,803
顧客との契約から生じる 収益	50,191	—	—	4,460,231
その他の収益	—	18,072	—	18,072
外部顧客への売上高	50,191	18,072	—	4,478,304
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,114	51,000	△63,758	—
計	55,305	69,072	△63,758	4,478,304
セグメント利益又は損失 (△)	5,901	40,769	1,485	484,301

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	コンクリート 製品製造・販 売事業	水門・堰の製 造及び施工並 びに保守事業	地質調査・コ ンサルタント 業務及び土木 工事事業	橋梁・高架道 路用伸縮装置 の製造・販 売・設置工事 事業	コンクリート 構造物の点 検・調査、補 修工事業
売上高					
一時点で移転される財	2,433,674	—	—	148,589	—
一定の期間にわたり移転 される財	—	913,213	256,218	377,132	105,868
顧客との契約から生じる 収益	2,433,674	913,213	256,218	525,721	105,868
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,433,674	913,213	256,218	525,721	105,868
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	10,500	—
計	2,433,674	913,213	256,218	536,221	105,868
セグメント利益又は損失 (△)	316,164	80,923	△22,644	△64,385	△23,323

(単位：千円)

	情報機器の販 売及び保守事 業	不動産事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高				
一時点で移転される財	27,813	—	—	2,610,076
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	1,652,432
顧客との契約から生じる 収益	27,813	—	—	4,262,509
その他の収益	—	17,521	—	17,521
外部顧客への売上高	27,813	17,521	—	4,280,030
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,690	51,000	△68,190	—
計	34,503	68,521	△68,190	4,280,030
セグメント利益又は損失 (△)	6,768	41,442	4,781	339,725

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	164,581千円	165,512千円
のれんの償却額	22,366千円	22,366千円

